

森林とともに生きる①（教科書 222～235 ページ）

氏名()

①日本は世界の国々の中でも、森林の多い国です。国土にしめる森林の割合は約何パーセントですか。(教科書 222 ページ)

約 %

②森林は土砂くずれの被害を防ぐはたらきがあるといわれています。どうしてですか。(教科書 223 ページ)

③日本にはなぜ森林が多いのでしょうか。あなたの考えを書きましょう。

④森林の多い高知県では、地元の木材をどのように利用していますか。(教科書 226・227 ページ)

⑤教科書 227 ページの 2 枚の絵や「林業を^{いとな} ^{つつい}む筒井さんの話」をもとに、森林がある場合とない場合とで、どのようなちがいがあるのか説明しましょう。

【森林があると】

【森林がないと】

⑥林業にたずさわる人々は、どのようにして人工林を育てているのでしょうか。表の左のらんに、作業の名前を書きましょう。(教科書 228・229 ページ)

① なえぎ 苗木を育てる	畑で2～3年育てる。
②	育てた苗木を、山などに植える。
③	植えた木の成長をさまたげる雑草 ざっそう や木を取りのぞく。
④	太陽の光がよくとどくように、一部の木を切りたおし、木と木の間を広げる。
⑤	チェーンソーで木を切る。プロセッサという機械 えだ で枝をはらい、同じ長さに切り分けたあと、トラックで運び出す。

森林とともに生きる②（教科書 222～235 ページ）

氏名()

①林業で働く人の数はどのように変化していますか。(教科書 229 ページ)

--

②林業で働く人が少なくなったのはどうしてでしょうか。教科書 230 ページを読んで考えましょう。

③林業を営む人を増やすために、国や県はどのような取り組みを行っていますか。
表の左のらんに、取り組みの名前を書きましょう。(教科書 231 ページ)

緑の	新しく林業の仕事につく人に、基本^き的な技術^{ほん}を学ぶ場を用意する。
	林業^{きょう}に興味^みのある人を森林の多い地域^{まね}に招き、林業体験や地元の人との交流をしてもらう。
	1年間、林業の技術や森林管理、木造設計^{もくぞうせつけい}などを学ぶことができる。

④木材の使用量を増やすために、どのようなことが行われていますか。表の空いているらん、取り組みの名前や説明を書きましょう。(教科書 231～233 ページ)

もくしつ 木質バイオマス 発電	
	家庭や学校、会社などで、積極的に国産木材の加工品を使う運動。間伐材 かんばつざい の利用や新しい技術、素材の開発なども進めている。
シーエルディー CLT	

⑤森林を守り、活用するために、わたしたちはどのようなことに取り組んでいけばよいでしょうか。考えたことを書きましょう。(教科書 234・235 ページ)

⑥学習した感想を書きましょう。

森林とともに生きる①（教科書 222～235 ページ） 解答
氏名（ ）

①日本は世界の国々の中でも、森林の多い国です。国土にしめる森林の割合は約何パーセントですか。（教科書 222 ページ）

約 66 (70) %

②森林は土砂くずれの被害を防ぐはたらきがあるといわれています。どうしてですか。（教科書 223 ページ）

地面に張った木々の根が、土砂の流出をおさえるから。

③日本にはなぜ森林が多いのでしょうか。あなたの考えを書きましょう。

自分の考えを書きましょう

④森林の多い高知県では、地元の木材をどのように利用していますか。（教科書 226・227 ページ）

・さまざま建物や木工品の材料として使われている。
・学校の校舎やつくえ、いすの材料として使われている。
など

⑤教科書 227 ページの 2 枚の絵や「林業を営む筒井さんの話」をもとに、森林がある場合とない場合とで、どのようなちがいがあるのか説明しましょう。

【森林があると】
・土砂くずれが起こりにくい。
・キャンプなどを楽しむことができる。
・たくさんの動物のすみかになる。
・木材や食料、豊かな水をもたらしてくれる。 など
【森林がないと】
・土砂くずれが起こりやすくなる。
・流れこんだ土砂などで川がにごる。
・動物が少なくなる。
など

⑥林業にたずさわる人々は、どのようにして人工林を育てているでしょうか。表の左のらんに、作業の名前を書きましょう。（教科書 228・229 ページ）

①苗木を育てる	畑で 2 ～ 3 年育てる。
②植林	育てた苗木を、山などに植える。
③下草がり・除伐	植えた木の成長をさまたげる雑草や木を取りのぞく。
④間伐	太陽の光がよくとどくように、一部の木を切りたおし、木と木の間を広げる。
⑤伐採・運搬	チェーンソーで木を切る。プロセッサという機械で枝をはらい、同じ長さに切り分けたあと、トラックで運び出す。

解答

)

①林業で働く人の数はどのように変化していますか。(教科書 229 ページ)

- ・ 1980 年から 2000 年にかけて大きく減ったが、その後はあまり変化していない。
- ・ 34 才以下の人の数は 1990 年と比べて増えている。など

②林業で働く人が少なくなったのはどうしてでしょうか。教科書 230 ページを読んで考えましょう。

- ・ 昔と比べて、国内で使われる木材の量が減ったから。
 - ・ 値段の安い輸入木材にたよっているから。
 - ・ 以前に比べて、木材の値段が下がったから。
- など

③林業を営む人を増やすために、国や県はどのような取り組みを行っていますか。
表の左のらんに、取り組みの名前を書きましょう。(教科書 231 ページ)

緑の^{こよう}雇用事業	新しく林業の仕事につく人に、基本的な技術^{きほん}を学ぶ場を用意する。
林業インターンシップ^お	林業に興味のある人を森林の多い地域^{きょうみ}に招き、林業体験や地元の人との交流^{まね}をしてもらう。
林業大学校	1年間、林業の技術や森林管理、木造設計^{もくそうせつけい}などを学ぶことができる。

④木材の使用量を増やすために、どのようなことが行われていますか。表の空いているらん、取り組みの名前や説明を書きましょう。(教科書 231～233 ページ)

もくしつ 木質バイオマス 発電	森林の中に残されていた材木や枝を、発電のための燃料として活用する。
木づかい運動	家庭や学校、会社などで、積極的に国産木材の加工品を使う運動。かんぼつざい間伐材の利用や新しい技術、素材の開発なども進めている。
シーエルティー CLT	けんちくざいじょうぶで軽い建築材で、太くない木でも組み合わせて使うことができる。

⑤森林を守り、活用するために、わたしたちはどのようなことに取り組んでいけばよいでしょうか。考えたことを書きましょう。(教科書 234・235 ページ)

自分の考えを書きましょう

⑥学習した感想を書きましょう。

自分の考えを書きましょう